

7月豪雨により浸水した箇所に対して応急対策工事を実施しました -上高地(梓川)-

北陸地方整備局
松本砂防事務所

令和2年7月豪雨では梓川が増水し、明神地区と徳沢地区をつなぐ左岸歩道の一部が浸水しました。支川からの土砂流下と本川河床上昇が原因のひとつと考えられます。抜本的な対策には時間を要するため、応急対策としてふとんかごを用いた護岸を施工し、これが完成したので報告します。

施工にご協力頂いた関係行政機関や地元建設会社の皆様に謝意を表するとともに、これからも景観や環境に配慮しながら上高地の安全・安心のために取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



浸水した左岸歩道(登山道)(撮影:7月13日)



梓川本川の水が流入(撮影:7月17日)



本川水流入箇所の状況(撮影:7月13日)



ふとんかご護岸を施工中の状況



ふとんかご護岸本体の完成
(仮設工のため周辺樹木の伐採を行わないように設置)



既設護岸との開口部を塞ぎ、修景を施して完成

施工: 川瀬建設(株) [松本市奈川]